

海岸林再生プロジェクト 10 カ年計画 活動報告 (要旨)

1 平成 23 年度の事業

公益財団法人オイスカは、壊滅的被害を被った名取市の海岸林の復興を行うこととして、いる国・県・市に、名取市海岸林再生の会と連携して協力したいとして、平成 23 年 3 月 17 日に、皆川芳嗣林野庁長官 (当時) に宛て協力の申し出を行い、4 月 21 日に航空調査、5 月 24 日に行政との初協議、名取市北釜地区住民との初協議、陸上踏査を開始しました。

具体的には、復興再生の必要な名取市の海岸林約 100 h a の植林について、苗木の提供、植林、下刈り等保育までを行うことにしており、平成 23 年から 10 カ年の計画で、クロマツ苗木の不足対策と雇用対策を兼ねて、育苗~植栽~育林の一貫施業を目指す計画をスタートしました。

2 平成 24 年度の事業

2012 年 1 月から畑の確保・防風柵の施設のから開始し、活動の拠点となる事務所・休憩所・物品庫の設置を行いました。灌水に必要な地下水をくみ上げる井戸を 8 箇所ほど掘りましたが、6 か所は塩分濃度が高く、2 か所がぎりぎりの濃度 EC 1. 2 でこれを利用している。

また、土壌調査したところ、カリ分が異常に高い値が出て、堆肥・肥料散布を工夫して、播種床づくりを行い、平成 24 年 3 月 30 日に初めての播種を行いました。

① クロマツ種子の播種量 (畑直播)

抵抗性クロマツ 0. 5 k g (22, 500 粒)

普通クロマツ 1. 5 k g (75, 000 粒)

計 2. 0 k g (97, 500 粒) 発芽率 95%

② 床替え (稚苗移植) 抵抗性クロマツ 1, 000 本

③ 総雇用数 223 人

3 平成 25 年度の事業

① クロマツ種子の播種量

抵抗性クロマツ 0. 5 k g (22, 500 粒) コンテナ播種

普通クロマツ 1. 0 k g (50, 000 粒)

計 1. 5 k g (72, 500 粒) 発芽率 90%

② 床替え

抵抗性クロマツ 20, 000 本

普通クロマツ 70, 000 本

計 90, 000 本

③ 総雇用量 (見込み) 592 人

【更新】2015,3,30

4 平成26年度の事業

播種量

① 下記全てコンテナ播種。今年度からは露地直播きを行わない。

抵抗性クロマツ 0.65kg (29,250粒)

普通クロマツ 0.50kg (25,000粒)

抵抗性アカマツ 0.35kg (33,000粒) (1穴2粒播種)

計 1.5kg (87,250粒) 11月県調査の生育率 92.3%

② 床替え

普通クロマツ 45,000本

抵抗性アカマツ 4,000本 計49,000本

平成26年に自家生産で出荷した苗木数 (基準を満たした苗木)

普通クロマツ普通苗 35,750本

抵抗性クロマツ普通苗 9,000本

広葉樹 (クリ・コナラ・ヤマザクラ・ケヤキ) 432本

計 45,182本

平成26年度の植栽・施肥面積

国有林 2.77ha

市有林 12.90ha (秋植え 0.70ha)

県有林 0ha

計 15.67ha (80,182本) うち秋植え3,500本

春植え活着率 98.6%

補植 (秋) 1,500本

総雇用見込み (育苗・植栽・保育) 1,000人以上

ボランティア (育苗・植栽・保育) 1,365人

視察 576人

活動報告会・講演会 4,692人

写真展 14回

国内メディア紹介・掲載 40回

*2014年4月～2015年3月末

*民有林 (県・市有林など) 89.98ha については、2014年2月28日に宮城県・名取市・再生の会・オイスカが、国有林2.91haについては、同年2月28日に国・オイスカが、合計92.89haの整備協定を締結した。

【更新】 2015,3,30

5 平成 27 年度の植栽・播種計画

①植栽面積

海岸林 7. 9 0 h a

内陸防風林 1. 8 5 h a *内陸防風林は追加協定を締結した上で実施。

9. 7 5 h a

必要苗木本数 4 9, 8 2 2 本 *全て自家生産で賄うことが可能。

播種量 クロマツ 2. 0 0 kg (9 0, 0 0 0 粒) *希望数量

広葉樹 2, 5 0 0 粒

総雇用見込み (育苗・植栽・保育) 1, 0 0 0 人

ボランティア (育苗・植栽・保育) 1, 5 0 0 人

6 平成 28 年度以降の計画

毎年 10ha 前後の植栽で、平成 32 年度までに約 100ha の植栽を終了する。